

横浜市感染症発生動向調査報告 9月

《今月のトピックス》

- **RSウイルス感染症が急激かつ大幅に増加しています。**
- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が続いています。
- 流行性耳下腺炎、流行性角結膜炎の報告が例年より多い状態が続いています。
- ヘルパンギーナの流行警報が解除されました。

全数把握の対象

【9月期に報告された全数把握疾患】

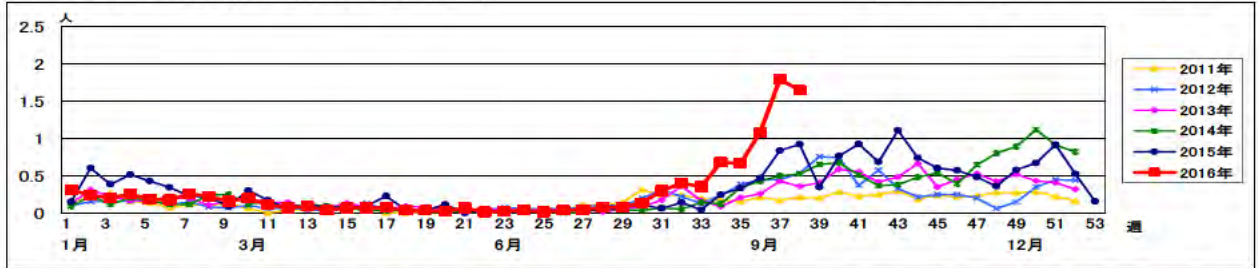
腸管出血性大腸菌感染症	23件	急性脳炎	2件
E型肝炎	1件	クリプトスポリジウム症	1件
A型肝炎	2件	クロイツフェルト・ヤコブ病	1件
デング熱	1件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2件
レジオネラ症	6件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症含む)	7件
アメーバ赤痢	8件	侵襲性肺炎球菌感染症	5件
ウイルス性肝炎(E型およびA型を除く)	1件	梅毒	18件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	7件	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1件

- 1 **腸管出血性大腸菌感染症**:23件の報告のうち(9件は無症状病原体保有者)、O157が20件、O121が2件、O不明が1件で、家族内発生事例も報告されています。2次感染予防には手洗いが重要です。さらに、下痢症状のある人は専用のタオルを使うなど、他の人と使うタオルを別にしましょう。トイレは常に清潔に掃除し、ドアノブ・水洗レバー・電気のスイッチなど手の触れるところは、特に念入りにきれいにしましょう。
- 2 **E型肝炎**:1件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 3 **A型肝炎**:2件の経口感染の報告があり、1件が国内、1件がバングラデシュでの感染と推定されています。
- 4 **デング熱**:1件の報告があり、インドでの感染と推定されています。
- 5 **レジオネラ症**:6件の肺炎型の報告があり、いずれも感染経路等不明でした。
- 6 **アメーバ赤痢**:8件の報告があり、1件は国内での異性間の性的接触、2件が国内での経口感染が推定され、5件は感染経路等不明でした。
- 7 **ウイルス性肝炎(E型およびA型を除く)**:B型の報告が1件あり、感染経路等不明でした。ワクチン接種歴は確認できませんでした。
- 8 **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**:7件の報告があり、うち2件は手術部位感染、1件は医療器具等関連感染、2件は以前からの保菌と推定され、2件は感染経路等不明でした。
- 9 **急性脳炎**:2件の幼児の報告がありました。
- 10 **クリプトスポリジウム症**:1件の報告があり、動物からの感染が推定されています。
- 11 **クロイツフェルト・ヤコブ病**:家族性CJDの報告が1件ありました。
- 12 **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**:B群が1件、G群が1件報告され、創傷感染が推定されています。
- 13 **後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)**:7件の報告があり、うち3件がAIDS、3件が無症状病原体保有者、その他が1件でした。感染経路は、同性間の性的接触が4件、異性間の性的接触が2件、感染経路等不明が1件でした。
- 14 **侵襲性肺炎球菌感染症**:5件の報告があり、いずれもワクチン接種歴は確認できませんでした。
- 15 **梅毒**:18件の報告(無症状病原体保有者7件、早期顕症梅毒Ⅰ期9件、早期顕症梅毒Ⅱ期2件)がありました。感染経路は、性的接触が17件(異性間12件、詳細不明5件)、感染経路等不明が1件でした。
- 16 **バンコマイシン耐性腸球菌感染症**:1件の報告があり、感染経路等不明です。

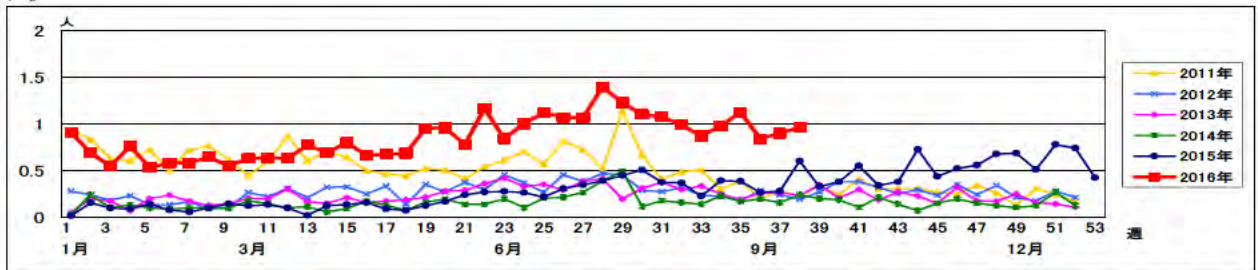
定点把握の対象

平成28年 週一月日対応表	
第34週	8月22日～8月28日
第35週	8月29日～9月 4日
第36週	9月 5日～9月11日
第37週	9月12日～9月18日
第38週	9月19日～9月25日

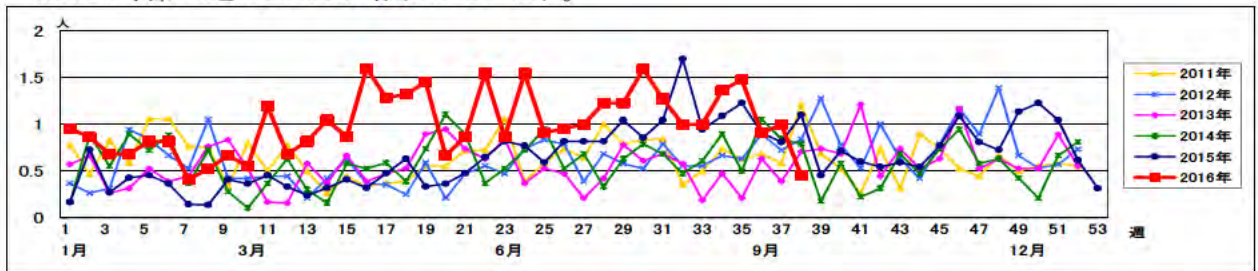
- 1 RSウイルス感染症: 第37週で定点あたり1.79、第38週で1.64と、例年に比べて急激かつ大幅に増加しています。



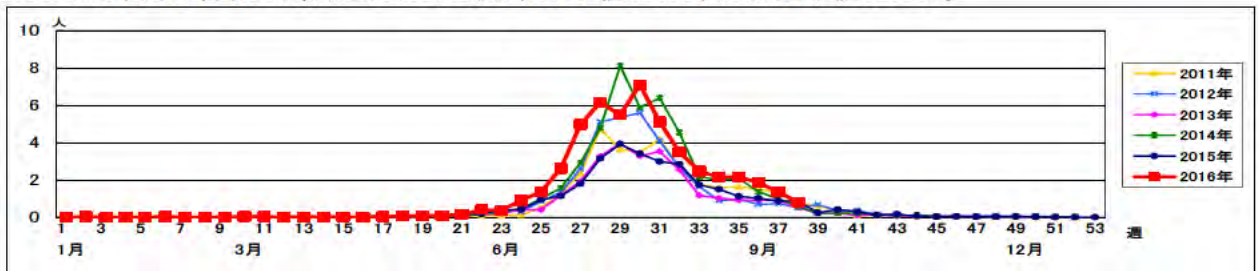
- 2 流行性耳下腺炎: 第38週で定点あたり0.96と、例年に比べて報告が多い状態が依然として続いています。



- 3 流行性角結膜炎: 第36週で定点あたり0.90、第37週で1.00と、例年に比べて報告が多い状態が続いていましたが、第38週では0.45に減少しています。



- 4 ヘルパンギーナ: 第28週にて市全体で定点あたり6.15となり、流行警報が発令されましたが、第36週に1.85となり、流行警報は解除されました(発令基準値:6.00、終息基準値:2.00)。



- 5 性感染症: 8月は、性器クラミジア感染症は男性が21件、女性が10件でした。性器ヘルペス感染症は男性が8件、女性が6件です。尖圭コンジローマは男性7件、女性が5件でした。淋菌感染症は男性が16件、女性が1件でした。
- 6 基幹定点週報: マイコプラズマ肺炎は第34週1.00、第35週1.33、第36週2.33、第37週0.33、第38週0.50と報告されています。細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、クラミジア肺炎、感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)の報告はありませんでした。
- 7 基幹定点月報: 8月はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症13件、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症1件で、薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はありませんでした。

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときのみ行っています。

<ウイルス検査>

9月に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点31件、内科定点4件、基幹定点8件で、定点外医療機関からは6件でした。

10月7日現在、ウイルス分離4株と各種ウイルス遺伝子23件が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(9月)

主な臨床症状 分離・検出ウイルス	上 気 道 炎	下 気 道 炎	イン フル エン ザ	R S V 感 染 症	胃 腸 炎	手 足 口 病	ヘル パン ギー ナ	無 菌 性 髄 膜 炎	急 性 脳 炎	発 疹 症
インフルエンザ B型ビクトリア系統			1							
パラインフルエンザ 1型	1								1	
パラインフルエンザ 3型	1			1						
RS		3		4					1	
水痘・帯状疱疹	1									
ライノ	2									
ヒトパレコ								1		1
コクサッキー A 2型	1									
コクサッキー A 4型							1			
コクサッキー A 6型						4				1
コクサッキー B 3型		1								
コクサッキー B 5型					1					
合計	1 5	1 3	1 0	0 5	1 0	0 4	0 1	0 1	0 2	0 2

上段:ウイルス分離数/下段:遺伝子検出数

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

<細菌検査>

9月の感染性胃腸炎は、小児科定点から1件、基幹定点から9件、その他が18件で、腸管出血性大腸菌（O157:H7,VT2が8件、O157:H7,VT1&2が4件、O157:H-,VT1&2が1件、O121:H19,VT2が1件、O121:H21,VT2が1件、O型別不能,VT1が2件）、サルモネラ（*S. Typhimurium*、*S. Braenderup*、*S. Manhattan*）が検出されました。

その他の感染症は、小児科定点から1件、基幹定点から4件、その他からが28件でした。B群およびG群溶血性レンサ球菌は劇症型溶連菌感染症の患者から検出されました。レジオネラ属菌は2株とも *Legionella pneumophila* 1群、インフルエンザ菌は血清型別不能でした。

表 感染症発生動向調査における細菌検査結果(9月)

感染性胃腸炎							
検査年月 定点の区別 件数	9月			2016年1月～9月			
	小児科	基幹	その他*	小児科	基幹	その他*	
菌種名							
赤痢菌					1	2	
腸管出血性大腸菌		1	16		7	49	
腸管毒素原性大腸菌					2		
腸管凝集性大腸菌					2		
チフス菌					2		
サルモネラ	1	2		1	22	2	
カンピロバクター						1	
黄色ブドウ球菌					1		
NAGビブリオ			1			1	
不検出	0	6	1	0	52	18	
その他の感染症							
検査年月 定点の区別 件数	9月			2016年1月～9月			
	小児科	基幹	その他*	小児科	基幹	その他*	
菌種名							
A群溶血性レンサ球菌	T1	1		4		2	
	T3			1			
	T4			2			
	T6			1			
	T12			3		1	
	型別不能			12		2	
B群溶血性レンサ球菌			1			2	
G群溶血性レンサ球菌			1		2	5	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌					4		
バンコマイシン耐性腸球菌					1	2	
レジオネラ属菌			2			3	
インフルエンザ菌			1			6	
肺炎球菌					5	38	
黄色ブドウ球菌				1			
結核菌			11			186	
百日咳菌					2		
ボツリヌス菌						1	
その他		2	8		14	46	
不検出	0	2	4	4	14	37	

*: 定点以外医療機関等(届出疾病の検査依頼)

T(T型別): A群溶血性レンサ球菌の菌体表面のトリプシン耐性T蛋白を用いた型別方法

【 微生物検査研究課 細菌担当 】